

Next One!

# となみ 市議会 だより

令和8年3月定例会

2026  
4.24  
No. 44

## Contents

- P2 特集
- P4 代表・一般質問
- P9 委員会報告
- P11 賛否公開



特集

市民の声を聴くだけで終わっていないことを  
どう伝えていくか

# いないことをどう伝えていくか

## 変革と議論：動く議会のメカニズム

### 変革テーマ：市民の声を聴くだけで終わっていないことをどう伝えていくか

市民の声を聴くだけでなく、それを具体的な政策や改善提案につなげられる「実行力のある議会」へと進化しています。

#### 市議会では

総務産業建設常任委員会や文教民生病院常任委員会を設置し、効率的専門的に協議しています。

#### 議会で協議



改善  
提案

様々な情報・市民ニーズ



市（当局）

#### 市(当局)への「改善提案」と計画の見直し

委員会での議論を経て、課題があれば市(当局)に対し改善や計画の見直しを求めます。

#### 特別委員会での審議

新庁舎検討特別委員会や議会改革特別委員会など、市の未来につながる課題に対し、専門の特別委員会を設置し、集中的に調査・研究を行っています。

#### まとめに代えて

議会は、日常の課題や市民の声をもとに調査・検討を重ね、市民生活の向上につなげています。いただいた声を形にしていく過程や成果を、より分かりやすくお届けできるよう努めます。

#### 実績例

##### 子育て環境の向上に向けた提案



市民からの声をもとに、病児保育施設の設置や天候に左右されない屋内での遊び場の充実など、より子育てのしやすい環境にむけて提案しています。

#### 実績例

##### 除雪体制の強化や計画的な維持計画



議会報告会や市民からの「冬の安全を守ってほしい」という声をもとに、除雪体制や道路の保守等について常任委員会でも議論をしています。

### 「あなたの声が 議会を動かします」

議会は市民の鏡です。一人ひとりの声に応え、目に見える変化を積み重ねていくことを大切にしています。

# 市民の声を聴くだけで終わって

## 現状の課題：70.0%の壁

「声が反映されているか分からない」と70.0%が回答



声が反映されているか  
分からない

令和7年度のアンケート結果では、報告会などで伝えた自分の意見が、その後の議会ではどのような経過をたどったのか分からないという結果でした。



議員と直接話をしたり聴いたりする機会が少ないことが、心理的距離感を生んでいると分析しています。

市民が本当に求めているのは「日常的な関係」



特別なイベントではなくても、日常からホームページや「市議会だより」の充実、そして全21地区の自治振興会を通じ、身近な所で一層コミュニケーションをとる必要があります。

市民の声を聴く



### 議員の役割

#### 市民の声を

#### 「形」に変える専門家

議員は市民の代表者として、行政のチェックだけでなく、寄せられた課題を整理し、改善策を導き出す役割も担っています。



## 代表質問

しまざき きよたか  
島崎 清孝議員



### 令和8年度 当初予算編成の基本方針と重点政策について

**Q** 令和8年度当初予算は過去最大規模ですが、第2次砺波市総合計画の最終年として、市民の暮らしを守るためにどのような方針で編成し、少子高齢化等の課題にどう取り組みますか。

**A** 令和8年度は第2次砺波市総合計画の最終年であり、10年間のまちづくりの集大成と位置づけています。予算は未来へつなげる投資的積極予算「となみ暮らし魅力アップ予算VI」と命名し、重点施策「10 WAVE プロジェクト」を軸にこれまでの取組を総仕上げするとともに、次期計画への始動もイメージして編成しました。今回初めて「リノベーション推進枠」を設け、既存事業の見直しにより財源の確保と、新たな事業の創出に積極的に取り組んだところです。移住定住対策では「住宅取得支援事業」に三世代同居・近居の加算要件を追加し、社会増を後押しします。また、チューリップフェア会場での移住定住相談を通じ、ふるさと納税やふるさと住民登録制度の推進も図ります。教育・子育て支援では、小学校給食の無償化を実施するほか、出町・砺波南部・鷹栖の各小学校体育館の空調設計や、中学校の理科室・音楽室など特別教室への空調設置を順次進め、学習環境を整えます。さらに「こども子育て交流館こどもおーる」の運営や、デマンド交通「チョイソコとなみ」の当日予約開始など、少子高齢化への対応を積極的に進めます。

### 空き家対策について

**Q** 改正空家法による管理不全空き家への勧告や増税措置について、本市の活用状況と、公平性を確保するための明確な運用基準の策定について市長の見解を伺います。

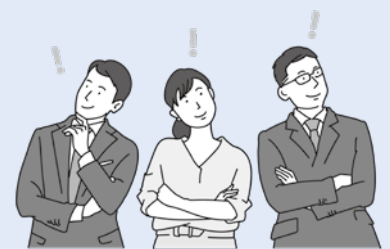
**A** 管理不全空き家の認定基準は市町村の裁量に委ねられており、全国的に規定が進んでいない中、本市では現在、国の指針を踏まえた認定基準の規定に向け検討を進めています。現在、市内には「特定空き家」が8件認定されていますが、相続手続の停滞や相続放棄などが対策を進められない要因となっています。

こうした課題を解決するため、令和8年度のできるだけ早い段階で、市の空き家条例において、管理不全空き家を明確に定義するための実効性のある具体的な「認定基準」や「対応方針」を規定します。

「管理不全空き家」の状態にもかかわらず、助言や指導にも応じない場合には、固定資産税の特例解除などの措置により毅然とした対応を取っていきます。

3月9日・10日の両日、12人の議員が市政に対する代表・一般質問を行いました。

# 3月定例会 代表・一般質問



#### 代表・一般質問とは

議員が市のあらゆる施策について問いただし、自由な意見を述べ、市の公式の見解を求める機会です。代表質問は、会派を代表して質問を行います。

※3月定例会での代表・一般質問の録画映像を、インターネット配信しています。議員氏名の下の各QRコードからも、質問の映像を見ることができます。

砺波市議会

検索



に き りょういち  
仁木 良市議員



## 小学校40分授業への移行に伴う成果と放課後の児童支援について

**Q** 40分授業導入で下校時刻が早まる中、放課後・下校時の安全確保や保護者負担への対応をどのように進めるのか伺います。

### 質問の趣旨

40分授業は子どもの心身の状態を丁寧に確認する時間を確保することが目的の一つです。導入によりこれまでより早くなる下校時等への対応が大事だと思い質問しました。

**A** 40分授業の導入により、下校時刻は学校ごとに異なりますが、おおむね5分から15分程度早まる見込みです。現在は令和8年度の本格実施に向けて試行しており、帰宅時間が早まることで困る家庭の児童については、学校の図書室など安全な場所で自主学習を行い、帰宅時間を調整しています。

また、スクールバスについては新年度から放課時間に合わせて下校時間を変更します。さらに、放課後児童クラブの受入れ時間も早まることから、各放課後児童クラブ運営委員会に支援員の配置を調整していただいております。これに伴う委託料の増額もする方向で調整します。



よねやま まさき  
米山 勝規議員



## 次世代型 AIリテラシー習得に向けて

**Q** 職員の生成 AI 導入にあたり、操作スキルの習得だけでなく、回答を公共の利益に照らし正しく吟味する批判的思考能力や、AI倫理を備えた職員を育成する考えがあるか伺います。

### 質問の趣旨

今までの IT 技術とは異質の「生成 AI」が、職員の事務負担を軽減し市民サービス向上により集中できるのではと考え質問しました。

**A** 生成 AI の活用においては、操作方法の習得にとどまらず、出力内容を適切に評価し、行政として責任ある判断につなげることが重要です。

そのため、基礎研修に加え、実際の業務事例を用いた実践的演習や先行自治体の活用事例を学ぶ機会を設け、職員の思考力・実践力の向上を重視した研修を充実させます。

あわせて、情報倫理・個人情報保護の徹底と説明責任を踏まえた活用指針の理解を深め、生成 AI サービスを適切に使いこなすよう職員の育成に努めます。



はやし のりこ  
林 教子議員



## 剪定枝リサイクルにとどまらず、そこから先の交流拡大に向けて


**Q** 剪定枝リサイクルを活用した取組を、まちづくりや観光振興へ今後どのように発展させていくのか伺います。

### 質問の趣旨

剪定枝リサイクルを通じて、臨海副都心との連携が生まれました。この取組を環境施策にとどめず、本市の魅力発信や観光振興にもつなげられないかと考え、質問しました。


**A** 本市の剪定枝リサイクル堆肥は、東京都お台場海浜公園で活用されるなど、循環型社会の取組に理解をいただき、臨海副都心のイベント推進に貢献しています。これを契機に、東京臨海副都心まちづくり協議会と包括連携協定を締結し、花と水と緑にあふれたまちづくりやチューリップを通じた相互交流を進めています。新年度には協議会メンバーが本市のチューリップフェアを訪れるほか、武蔵野大学が本市を学生のフィールドワークの候補地に選定されるなど、具体的な成果も現れています。

今後は、このような循環型社会を引き続き推進するとともに、人の循環による関係・交流人口の拡大を図り、まちづくりや観光振興につなげていきます。



「土壌づくり」  
つなぐ  
大人の心を

しまだ みつる  
**嶋田 充**議員



## 中学校再編で描く「未来の学校」について

**Q** 新設中学校の開校準備委員会で、大人の意識をつなぐ土壌づくりも重視すべきではないでしょうか。




**A** 子どもたちの実践を通じて大人の意識を育み、地域の一体感を醸成する視点は重要であると認識しています。開校準備委員会では、活発な議論を通じて各地域の保護者が一体となり、子どもたちを応援していくことが、結果として意識の醸成につながると考えています。

また、委員会での協議内容は、ホームページ等を活用して積極的に情報発信していきます。


### 質問の趣旨

開校準備委員会を、単なる決定事項の協議の場ではなく、「頑張っている子どもたちを応援する体制づくり」を共通の話題にして、大人同士の心の垣根を取り払う「土壌づくり」の場にしてほしいと考え伺いました。



生徒に  
寄り添った  
新中学校の建設

こうしま としあき  
**神島 利明**議員



## 部活動の夜間の活動場所確保、不登校生徒に対する配慮について

**Q** 令和15年開校予定の新中学校建設に向け、部活動の地域展開に伴う活動場所の確保、不登校生徒への配慮、送迎車両の渋滞対策などの環境整備を求めますが、見解を伺います。


**A** 部活動の地域展開については、社会体育施設等を含め活動場所は確保できていると考えます。

不登校生徒への配慮に関しては、国の指針に基づき心理的負担を軽減する構造が必要であると認識しており、既存校の事例を参考に、相談室へ直接出入りできる動線の確保や専用スペースの整備を計画に取り入れます。

送迎車両の課題については、現在の渋滞状況は承知しており、新中学校では校区拡大による周辺交通量の増加が見込まれるため、十分な駐車スペースの確保や、安全な車両動線の整備などを計画的に行います。


### 質問の趣旨

新中学校の基本計画の策定にあたり、現状の課題を踏まえ、生徒に寄り添った学校となるよう見解を伺いました。



校務DXを  
次の  
段階へ

はらの まこと  
**原野 誠**議員



## 生成 AI を活用した校務効率化について

**Q** 生成 AI を活用し、教職員の負担軽減と教育の質向上を図る校務DXはどうか進めますか。



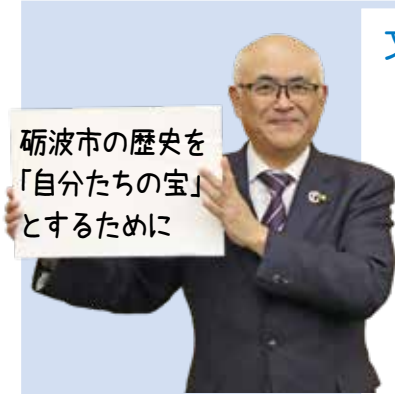
**A** 本市では、教職員を対象とした生成 AI についての研修会を実施し、教職員に校務の利用で効果的なプロンプト集を配布しています。内容を熟知の上、効果的に活用していくよう指導しました。文章の構成や挨拶文の作成補助、会議資料のスライドへの出力に使用する教職員が増えており、業務の効率化と労務の削減に一定の効果があったものと考えています。

また、生成 AI の利活用に関するガイドラインを作成し各校に配布するなど、4月からの生成 AI 活用の本格実施に向けた準備を進めており、教育センター主催の研修会などを通して、効果的な使い方を学ぶ場を継続して設けていきます。

### 質問の趣旨

これまで積み重ねてきた校務DXの基盤を活かし、次の一歩としてAI活用の位置づけについて伺いました。

砺波市の歴史を「自分たちの宝」とするために



むかい みきお  
向井 幹雄議員



## 文化振興と「市民の誇り」の醸成について

**Q** 文化財を市民の誇りとして継承し、担い手を育てる文化振興を今後どう進めますか。



**A** 本市では「砺波市文化財保存活用地域計画」を策定し、基本理念である「散りばめられた文化財が咲き誇るまちをつくろう」のもと、アクションプランを82事業設定し、情報発信の推進、伝統の継承・担い手育成、語り部の育成、学校教育との連携などの施策を、さらにブラッシュアップして進めています。

今後とも、子供の頃から地域の文化や歴史に触れる機会を設けるとともに、市民に各種情報を積極的に発信し共有することで、行政、学校、市民が一体となって、砺波の歴史を「自分たちの宝」として守り育てるシビックプライドの醸成を進めていきます。

### 質問の趣旨

地域特有の祭り等の文化や歴史を、「自分たちの宝」として守り育てるシビックプライドの醸成を推進していただきたいと思い質問しました。

## 新庁舎整備に向けた体制のアップデートについて

**Q** 新庁舎整備に向けた働き方改革やDXはどう進めますか。

**A** パイロットオフィスの取組により、書類の一括管理や電話機のコードレス化で共有スペースを確保し、柔軟な座席配置と円滑なコミュニケーションが実現しています。これらの成果を踏まえ、必要面積の考え方を整理し基本設計へ反映します。今後は保管文書の収納量の削減やフリーアドレス化、消耗品の一括管理の試行など、効率的な働き方を新庁舎に展開します。

**Q** 窓口部門などへの取組の横展開はどう進めますか？

**A** 窓口部門にも取組を広げ、窓口利用体験調査の結果を踏まえ市民の利便性向上を図ります。あわせて業務見直しやDX化、レイアウト変更などにより、行政サービスの質向上と職場環境の最適化を図ります。今後は部局横断で取組を進め、変化する市民ニーズに柔軟に対応できる体制を整えます。

### 質問の趣旨

新庁舎が市民にとって利用しやすく、職員にも働きやすい環境となるためこれから先どのような対策をされていくのか伺いました。

※パイロットオフィス…組織全体にオフィス改革を展開する前に、特定の部門や課単位で試験的に新しい働き方を導入する取組

新庁舎が市民にとって利用しやすいものになるように!!



こにし とよかず  
小西 十四一議員



## 地域医療の持続とDXについて

**Q** 人口減少や高齢化が進む中、地域医療の持続可能性を高める手段として、市立砺波総合病院では医療DXをどのように位置づけ、今後どのような分野で推進していくのか伺います。

**A** 医療DXを、患者満足度の向上や医療の質向上、経営改善を実現するための重要戦略と位置づけています。具体的には、電子カルテの更新に合わせて、診察状況をスマートフォンで確認できるアプリを導入し、待ち時間の有効活用など利便性を高めます。また、同意書などの紙文書の電子化や、音声入力による事務作業の効率化を進め、医療従事者の負担軽減と人材確保の基盤を整えます。

さらに、国が推進する電子カルテ情報共有サービスを活用し、地域の医療機関や介護施設との間で患者情報を共有します。これにより、重複検査の削減や在宅医療との切れ目のない連携を図り、患者さんが適切なタイミングで必要な医療を受けられる環境を構築します。医療DXの推進を、病床や人員、設備の最適活用と持続可能な地域医療に向けた強固な基盤として捉えており、市民の皆さんの命と安心を支えるため、引き続き積極的に取り組んでいきます。

### 質問の趣旨

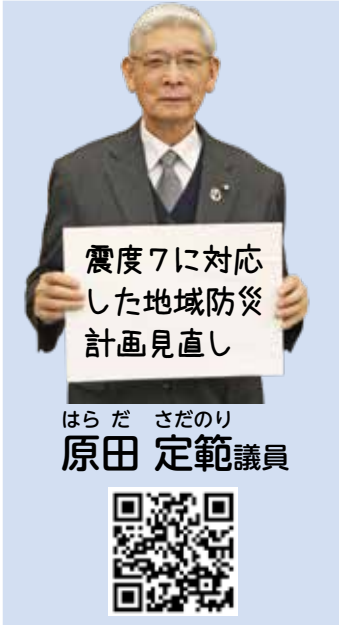
人口減少時代における地域医療の持続と医療DXの役割について質問しました。

住みよさを未来へ



さき さよこ  
境 佐余子議員



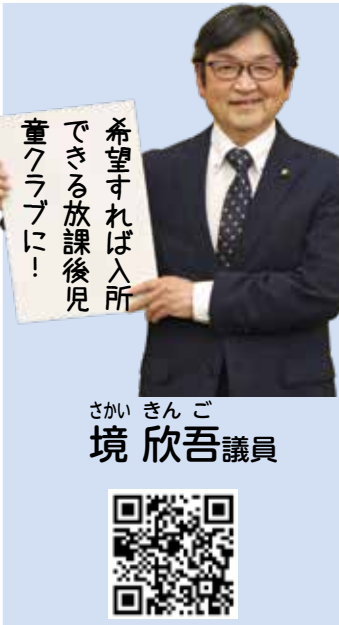


## 砺波市地域防災計画の見直しについて

**Q** 富山県地震被害想定調査の中間報告で、県内全域で最大震度7の可能性が示されたことについて、市の受け止め方と地域防災計画の見直しの方針を伺います。

**A** 県の中間報告では、これまで未調査だった断層帯が含まれたことや、令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、連動型地震も想定され、市内の最大震度6強から7となる地点が大幅に増加しました。市民への周知啓発に努め、自主防災組織の活動支援、防災士の育成、木造住宅耐震改修支援など、平常時からの取組を進め、災害対応力の向上に努めます。また、地域防災計画等の見直しは、県の調査の結果が本年公表される予定であるため、その結果を踏まえ、各種計画とあわせて進めていきます。

**質問の趣旨** 県の防災計画の改定を反映し、今後「市の防災計画」の見直しは必須です。「県内全域震度7になりうる」という前提に立ち、防災・減災対策の強化を図らなければとの思いで質問しました。



## 放課後児童クラブの安定した運営を市の責任で

**Q** 放課後児童クラブで入所制限が出ていますが、希望者全員を受け入れる対策はとれますか？

**A** 各クラブでは教室の規模に応じた定員があり、現在は低学年を優先して受入れていただいています。空き教室の活用やスタッフ確保に努めていますが、支援員等の確保は依然厳しく、児童の安全面を考えると、従来通りに受け入れることができないことをご理解願います。

**Q** 定員を超えて受け入れられないよう市が指導した理由と、今後の体制整備の考えを教えてください。

**A** 特定のクラブで想定人数を大幅に上回る利用があるため児童の安全面を最優先に考慮し、従来通りの受け入れはできない旨を運営委員会をお願いしたものです。本来、全学年を対象とする事業ですが、教室の規模や支援員、補助員等の人数に応じて、児童を受け入れていただいています。体制を整

**質問の趣旨** 「新年度直前に、『できるだけ利用を控えてほしい』と保護者会で説明があり困っている」との相談を受けました。以前から持続可能な体制を議会として要望していた経緯もあり、対策について質問しました。

えるために民間のノウハウを活用することとし、新年度には一部民間事業者へ運営の移行することを検討しています。今後増えると予想される保護者のニーズに答えられるよう、引き続き、対策を検討していきます。

## 傍聴してみませんか

令和8年6月定例会カレンダー(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	8 10:00 本会議	9	10	11	12	13
14	15 10:00 本会議 (代表・一般質問)	16 10:00 本会議 (一般質問)	17 10:00 文教民生病院 常任委員会	18 10:00 総務産業建設 常任委員会	19	20
21	22 14:00 本会議					

### 傍聴手順

- ①会場出入口付近にある受付票に、住所・氏名等をご記入ください。
- ②傍聴席へご入場ください。(傍聴は出入り自由です。)



議案第1号 令和8年度砺波市一般会計予算(所管部分)

### 定期予防接種事業費 229,501千円 (内8,400千円)

4月から、新たに「RSウイルス母子免疫ワクチン」が妊婦を対象に定期接種となります。

委員会では、対象者や事業の周知方法等について質疑しました。

接種可能な期間が限定されることから、対象者が接種時期を逃すことのないよう、事前の個別通知やアプリ等を活用し、迅速かつ適切な情報提供に努めるよう要望しました。



議案第1号 令和8年度砺波市一般会計予算(所管部分)

### 健康診断等委託料 小学校4,401千円 中学校4,770千円

児童・生徒の心身の状態をタブレット端末等で確認し、悩みの早期発見と適切な支援につなげるため「健康観察システム」が導入されます。

委員会では、導入目的や一部の小学校で行った試行導入の検証結果等について質疑しました。

教職員間の情報共有が円滑になった等の成果が確認されたことを受け、4月からの全小中学校への一斉導入にあたっては、これらの分析結果を十分に共有し、特に試行が実施されていない中学校においても円滑に運用が開始できるよう、万全な準備をするよう要望しました。



議案第1号 令和8年度砺波市一般会計予算(所管部分)

### 児童施設管理運営費 33,809千円

「こども子育て交流館(こどもおーる)」は、開館から約2か月が経過し、市内外から想定を上回る利用がありました。

今後は、混雑緩和と市内小学生の利用促進を図るため、毎月第3日曜日を市民限定の「となみオールの日」として設定する方針が示されました。

市外利用者の多さは交流人口創出の面で有益である一方、限定日の導入により来館者が混乱しないよう、事前の情報発信と丁寧な周知に配慮するよう要望しました。



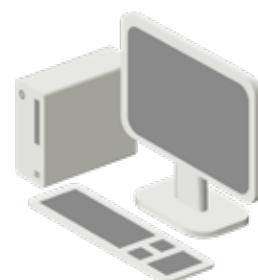


議案第1号 令和8年度砺波市一般会計予算(所管部分)

## 事務電算化推進事業費 380,209千円

標準準拠システム移行を実施する予算を含み、システム移行は令和8年10月から令和9年9月へ約1年間延期されました。この延期は、先行グループの職員の習熟とテストに万全を期す準備期間の確保と、サポート体制の強化を目的とするものであり、前向きな延期として位置づけています。標準準拠システムと本市既存システムの円滑な連携は、移行プロジェクトの最重要事項の一つであり、関係自治体等と緊密に連携しながら、先行団体の知見を活かし、万全を期すとしています。

また、予算規模について質疑したところ、移行完了後のランニングコストは大幅な増加が見込まれるということから、国等の補助金獲得の機会を的確に捉え、効果的な予算確保に努めるよう要望しました。



議案第1号 令和8年度砺波市一般会計予算(所管部分)

## ため池等整備事業費 10,000千円

栴檀野地区にある牛ヶ谷池を対象に、土質調査ボーリングとその結果をもとに安全解析および豪雨調査を実施し、耐震豪雨耐性評価を行います。市内には防災重点農業用ため池が19か所あり、すべての箇所を順次調査していく方針です。



調査完了の目標については、令和12年までのため池特措法に基づく予算配分の期間内を目指すとしており、並行して改修工事への着手も検討していますが、多大な経費を要することから、国・県と協議しながら早期着手に向けた方策を講じるとしています。

当該地区のため池は農業継続の生命線であることから、調査・改修を急ぎ、早急に対応するよう要望しました。



議案第1号 令和8年度砺波市一般会計予算(所管部分)

## 道路橋梁維持修繕費 138,047千円

市道の舗装修繕については、路面の凸凹・陥没の状況に応じて対応しており、小規模の陥没などは職員が速やかに補修を行っています。一方、幹線道路の大規模補修は工事費が高額となることから、補助事業を活用して計画的に実施していますが、散居村という地域特性上、市道延長が長く対象箇所が多いことが課題です。

橋梁については、161か所を対象に橋梁点検車による近接目視で損傷具合を確認し健全度を評価します。前年度レベル3（早期措置が必要）と判定された3橋を令和8年度の補修対象としています。また、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、財源を踏まえた将来的な橋梁の整理も視野に入れ、計画的な維持管理体制を構築するよう要望しました。



# 賛否公開

議案等に対する議員の賛成・反対一覧です。

詳しい議案内容は  
こちら▶



## 令和8年3月定例会

番号	議案等の名称	審議結果	米山規	嶋田充	原野誠	仁木良	原田定	境佐余	林教子	向井幹雄	神島利明	小西十四一	境欣吾	山本篤史	有若隆彦	川辺清彦	島崎久之	今藤孝之
----	--------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	-------	-----	------	------	------	------	------

### 【市長提出議案等】

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 議…議長（議長は採決に加わりません。）

議案第1号	令和8年度砺波市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和8年度砺波市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	令和8年度砺波市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和8年度砺波市霊苑事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和8年度砺波市工業団地造成事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和8年度砺波市水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	令和8年度砺波市工業用水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和8年度砺波市下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和8年度砺波市病院事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	砺波市職員等の旅費に関する条例の一部改正について <b>物価上昇等の変化に対応するための改正</b>	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	砺波市国民健康保険税条例の一部改正について <b>地方税の改正に伴い子ども子育て支援納付金課税額を新たに定めるもの</b>	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	砺波市森林等の火入れに関する条例の一部改正について <b>林野火災の予防を図るため警報発令時火入れを制限するもの</b>	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	砺波市下水道条例の一部改正について <b>災害時等に他の市町村長の指定を受けた事業者が排水設備等の工事を行うことができるための改正</b>	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	砺波市水道事業給水条例の一部改正について <b>災害時等に他の市町村長の指定を受けた事業者が給水装置の工事を行うことができるための改正</b>	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	砺波市生きがいセンター庄川高砂会館条例の廃止について <b>高砂会館廃止に伴いこの条例を廃止するもの</b>	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	辺地に係る総合整備計画の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	砺波市過疎地域持続的発展計画の策定について <b>現行の同計画が令和7年度末で終期を迎えることから引き続き新たな計画を策定するもの</b>	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	令和7年度砺波市一般会計補正予算(第8号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	令和7年度砺波市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	令和7年度砺波市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	令和7年度砺波市工業団地造成事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	令和7年度砺波市病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて 専決処分第1号 令和7年度砺波市一般会計補正予算(第6号) 専決処分第2号 令和7年度砺波市一般会計補正予算(第7号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 【請願、陳情等】

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 議…議長（議長は採決に加わりません。）

受理番号3	再審法改正は、早急に成立させることを求める意見書提出の請願 (賛否は「不採択」とする委員長報告に対するもの)	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-------	-----------------------------------------------------------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

### 【議員提出議案】

○…賛成 ●…反対 欠…欠席 議…議長（議長は採決に加わりません。）

議案第1号	刑事訴訟法の再審規定(再審法)の早期改正を求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-------	---------------------------------	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

## 討論

討論は、表決の前に議題になっている案件に対し、賛成か反対かの自己の意見を表明することをいいます。

### 請願受理番号3 「再審法改正は早急に成立させることを求める意見書提出を求める請願」不採択の委員長報告

反対 境 欣吾 議員	賛成 今藤 久之 議員
委員長報告では不採択であるが、冤罪救済を速やかに行える法律改正を求めるために有効な請願事項であり、採択を求める	請願事項にある「検察の持つ証拠の全てを開示すること」は証人保護や第三者のプライバシーの侵害が想定されることなどから請願事項に賛同できない

## 議会トピックス

### 1/15～1/16 議会運営委員会 行政視察

令和8年1月、議会運営委員会の委員7名が、東京都中野区役所と岐阜県各務原市役所を視察しました。

中野区役所では、「耐震・環境・景観」を重視した安全で環境にやさしい庁舎として、免震構造の採用と環境制御パネルによる日射負担の抑制、そして庁舎中心部には3階から11階の最上階まで通気口が設けられ、空調エネルギーの抑制と室内環境の快適化が図られています。

徹底したペーパーレス化とチャット活用等により、在宅ワーク環境を整備し、ワークライフバランスと業務効率化を両立させるオフィス改革が推進されています。また、セキュリティ面でも区民と職員の導線が明確に分けられていました。

各務原市役所では、採光装置を活用した照明負荷削減の取組が印象的でした。

今回の視察を通じ、業務の最適化、執務環境の適正化など、砺波市の規模に適した機能や構造等を取り入れることが必要だと感じました。



### 2/13 新庁舎検討特別委員会 行政視察

新庁舎整備における議場設備検討のため、可動式什器を導入している岐阜県北方町と白川村を視察しました。主に議場の稼働率向上や、災害時における柔軟な空間利用の可能性について調査しました。

北方町では、対面式レイアウトかつ平土間形式の議場を採用し、多目的利用を可能にしています。自然エネルギーを活用した設計ですが、運用面では空調の立ち上がりの遅さなど、環境維持に関する課題も伺いました。

一方、白川村は新庁舎建設にあたり、既存機器の活用によるコスト抑制を徹底しています。災害時には迅速に対策本部へ転換できるよう、平土間形式と可動式家具を継承する計画です。



両自治体とも、多目的利用の主眼は「災害時の機能転換」にあります。砺波市における設営負担や、多目的利用の具体的な効果を精査し、単なる可動式の導入にとどまらず、災害時の現実的な運用と議会運営の継続性を踏まえた、実効性のある設計を検討していく必要があると感じました。

### 今号までの編集メンバー 広報編集部会の 一言メッセージ

**米山 勝規**  
市民の方の手に取っていただき、議会をより身近に感じていただけたらな、と思い編集に携わりました。

**境 欣吾**  
限られた字数で質問者の思いを、不足も誤りも無く表す事の難しさをあらためて感じました。AIに期待です。

**原田 定範**  
議会の動きを可視化し、市民に「伝わる」広報に改善を図りながら、活動の記録と共有に努めた1年でした。

**仁木 良市**  
初めて編集に携わり、議会の動きを市民の皆さまへどう伝えるかを改めて深く考える貴重な機会となりました。

**原野 誠**  
市民の皆さまに手に取っていただき、議会の取組みが分かりやすく伝わる誌面づくりに努めてまいります。

**今藤 久之**  
編集委員として誌面づくりに携わる中、更なる改革の手応えを感じた1年でした。今後も伝わる広報を目指します。

**部会長 境 佐余子**  
市民の皆さまに「市政を自分ごと」として考えるきっかけになることを願って、誌面づくりをおこなってききました。

写真やご意見・ご感想を  
募集しています。

申込はこちらから▶



### マチイロアプリ

スマホで「議会だより」(フルカラー版)  
が発行日の朝から読めるアプリの  
インストールはこちらから▶▶▶

